

1 令和5年産花きの作付（収穫）面積及び出荷量の動向

作付（収穫）面積は、切り花類が1万2,710ha（対前年産比98%）、球根類が229ha（同98%）、鉢ものの類が1,400ha（同96%）、花壇用苗ものの類が1,223ha（同98%）となった。

出荷量は、切り花類が30億2,800万本（同97%）、球根類が6,810万球（同94%）、鉢ものの類が1億7,540万鉢（同97%）、花壇用苗ものの類が5億1,540万本（同96%）となった。

表1 令和5年産花きの類別作付（収穫）面積及び出荷量（全国）

類 別	作付（収穫） 面 積	出 荷 量	対 前 年 産 比	
			作付（収穫） 面 積	出 荷 量
	ha	万本（球・鉢）	%	%
切 り 花 類	12,710	302,800	98	97
球 根 類	229	6,810	98	94
鉢 も の 類	1,400	17,540	96	97
花 壇 用 苗 も の 類	1,223	51,540	98	96

注：1 球根類及び鉢ものの類は、収穫面積である。
2 出荷量の単位は、切り花類及び花壇用苗ものの類が万本、球根類が万球、鉢ものの類が万鉢である。

2 類別・品目別の作付（収穫）面積及び出荷量の動向

(1) 切り花類

作付面積は1万2,710haで、前年産に比べ260ha（2%）減少した。これは、生産者の高齢化等の労力事情により規模縮小等があったためである。

出荷量は30億2,800万本で、前年産に比べ1億500万本（3%）減少した。これは、作付面積の減少等があったためである。

都道府県別出荷量割合は、愛知県が19%で最も高く、次いで沖縄県が8%、静岡県が6%、福岡県及び長野県がそれぞれ5%となっている。

品目別出荷量割合は、きくが39%で最も高く、次いで切り枝が7%、ばら及びカーネーションがそれぞれ6%、ガーベラが4%となっている。

図1 切り花類の作付面積及び出荷量の推移

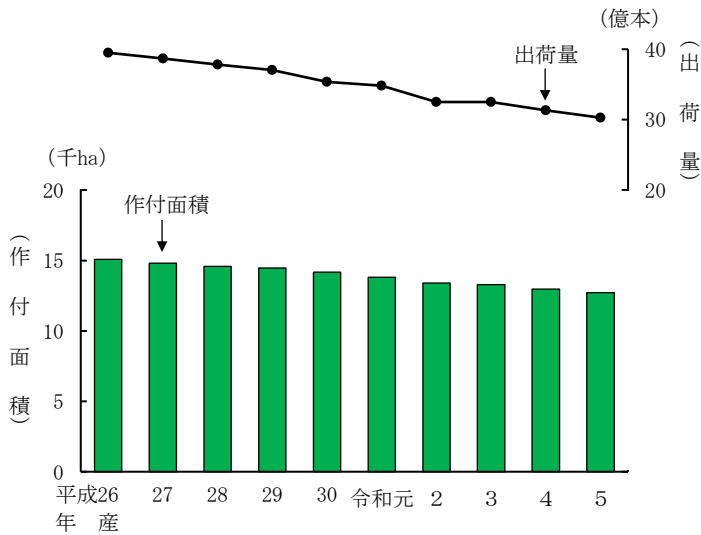
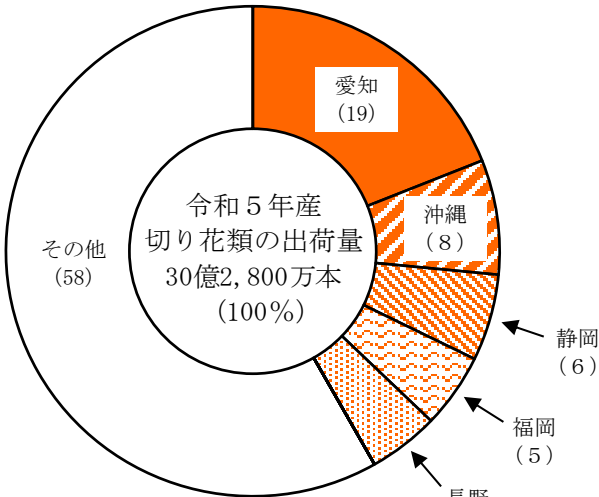


図2 切り花類の都道府県別出荷量割合



注：割合については、表示単位未満を四捨五入しているため、合計値と内訳の計が一致しない場合がある（以下図44まで同じ。）。

図3 切り花類の品目別出荷量割合

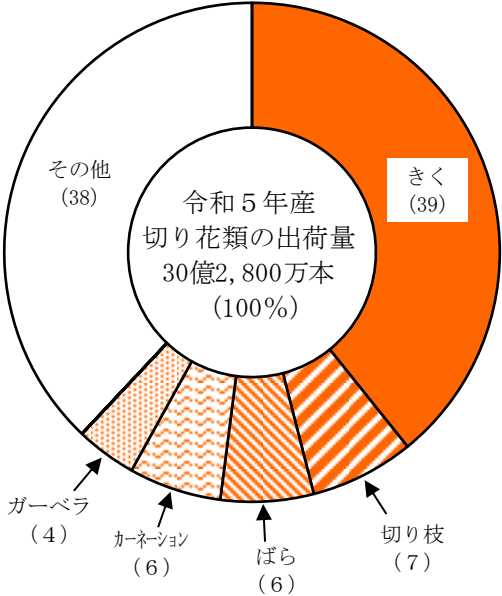


表2 令和5年産切り花類の作付面積及び出荷量（全国）

類・品目	作付面積	出荷量	対前年産比	
			作付面積	出荷量
	ha	万本	%	%
切り花類	12,710	302,800	98	97
うちきく	3,979	118,700	97	97
カーネーション	229	18,260	97	95
ばら	262	18,360	97	98
りんどう	389	6,900	98	96
宿根かすみそう	196	4,720	101	105
スターチス	166	11,330	100	97
ガーベラ	74	11,990	99	100
トルコギキョウ	387	8,430	99	101
ゆり	609	10,180	96	95
アルストロメリア	80	5,450	99	96
切り葉	550	8,110	98	94
切り枝	3,575	20,550	100	102

注：切り花類の値は、表章されている内訳品目以外の品目を含んだ合計である。

ア きく

作付面積は3,979haで、前年産に比べ113ha（3％）減少した。

出荷量は11億8,700万本で、前年産に比べ3,300万本（3％）減少した。

都道府県別出荷量割合は、愛知県が35％で最も高く、次いで沖縄県が17％、福岡県が6％、鹿児島県が5％、長崎県が4％となっており、この5県で全国の約7割を占めている。

図4 きくの作付面積及び出荷量の推移

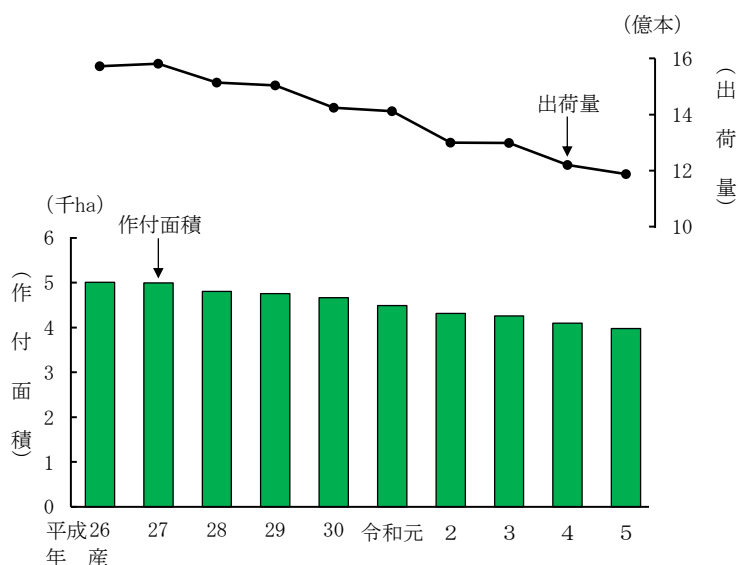
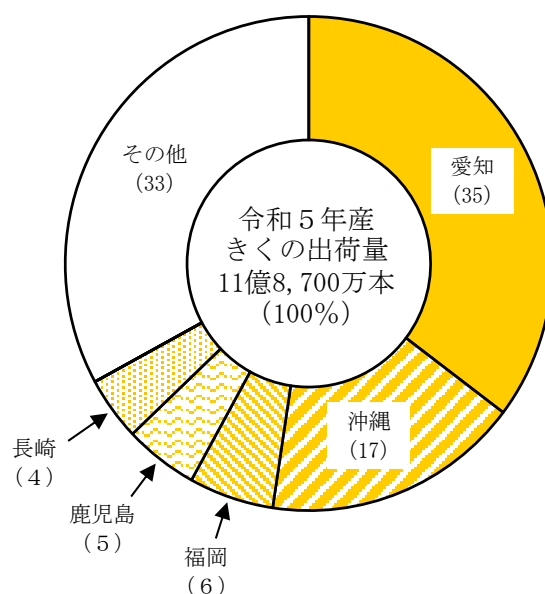


図5 きくの都道府県別出荷量割合



イ カーネーション

作付面積は229haで、前年産に比べ8ha（3％）減少した。

出荷量は1億8,260万本で、前年産に比べ1,030万本（5％）減少した。

都道府県別出荷量割合は、長野県が21％で最も高く、次いで愛知県が19％、千葉県及び兵庫県がそれぞれ9％、北海道が8％となっており、この5道県で全国の約7割を占めている。

図6 カーネーションの作付面積及び出荷量の推移

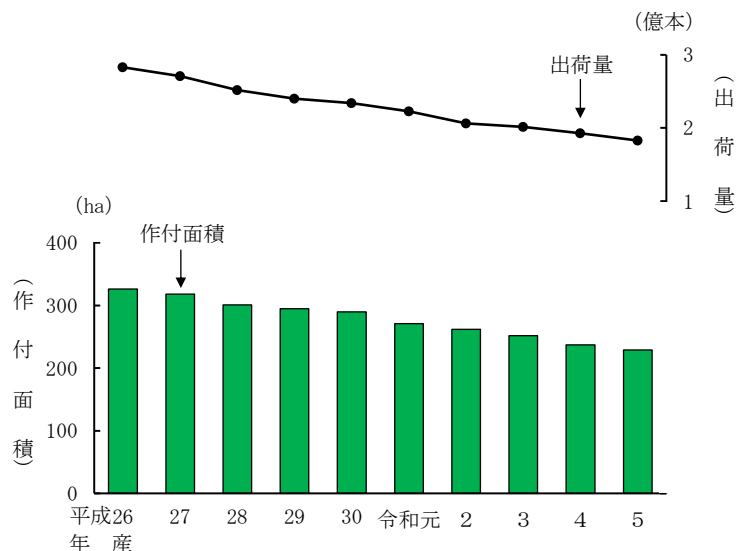
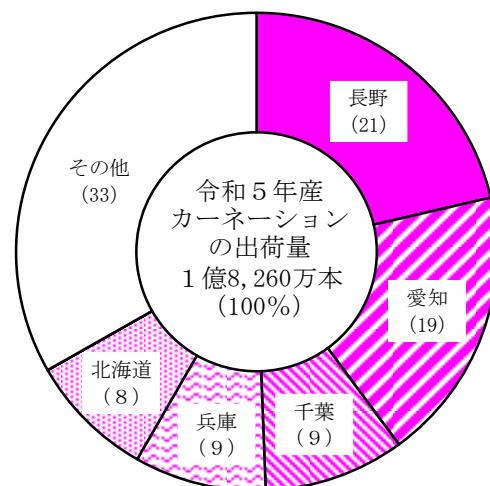


図7 カーネーションの都道府県別出荷量割合



ウ ばら

作付面積は262haで、前年産に比べ7ha（3％）減少した。

出荷量は1億8,360万本で、前年産に比べ380万本（2％）減少した。

都道府県別出荷量割合は、愛知県が19％で最も高く、次いで静岡県が9％、山形県が7％、福岡県が6％、群馬県が5％となっている。

図8 ばらの作付面積及び出荷量の推移

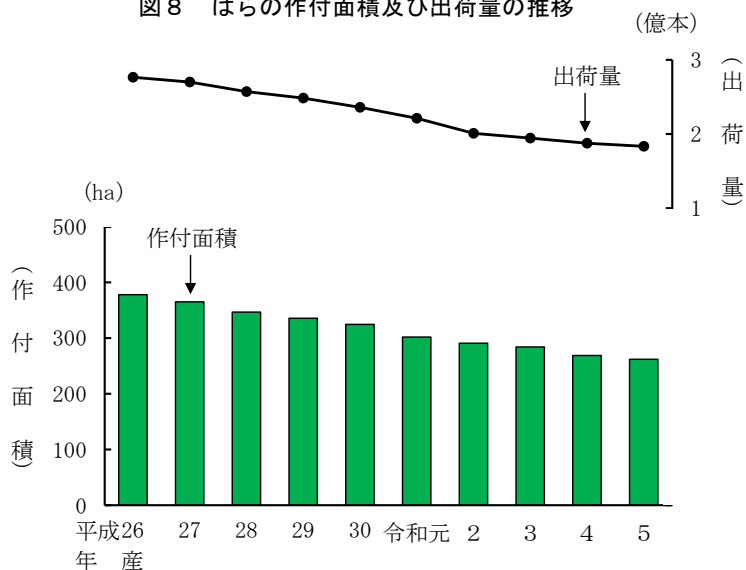
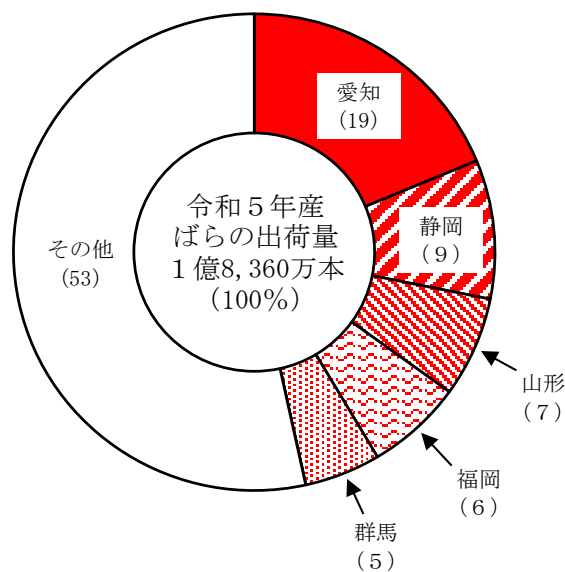


図9 ばらの都道府県別出荷量割合



エ りんどう

作付面積は389haで、前年産に比べ7ha（2％）減少した。

出荷量は6,900万本で、前年産に比べ310万本（4％）減少した。

都道府県別出荷量割合は、岩手県が59%で最も高く、次いで秋田県が12%、山形県が11%となっており、この3県で全国の約8割を占めている。

図 10 りんどうの作付面積及び出荷量の推移

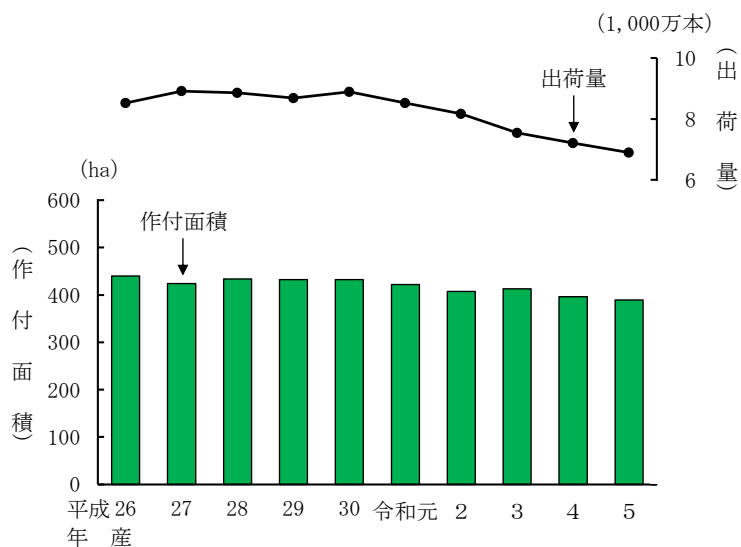
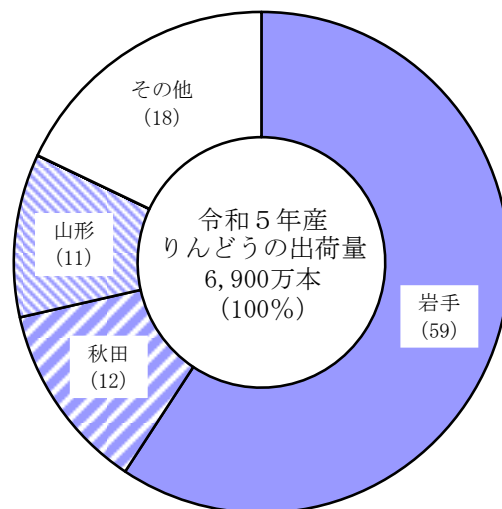


図 11 りんどうの都道府県別出荷量割合



オ 宿根かすみそう

作付面積は196haで、前年産に比べ1ha（1％）増加した。

出荷量は4,720万本で、前年産に比べ210万本（5％）増加した。

都道府県別出荷量割合は、熊本県が39%で最も高く、次いで和歌山県が20%、福島県が18%となっており、この3県で全国の約8割を占めている。

図 12 宿根かすみそうの作付面積及び出荷量の推移

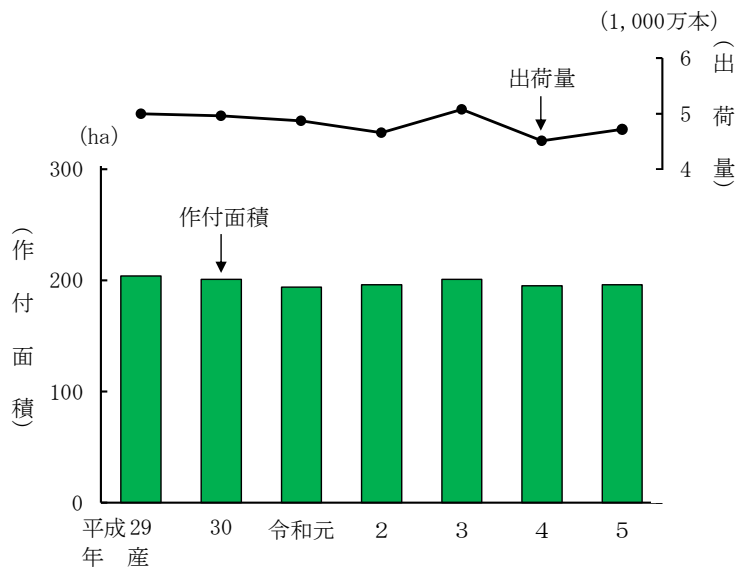
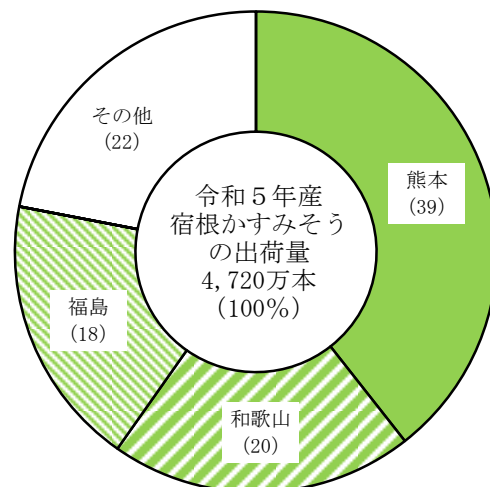


図 13 宿根かすみそうの都道府県別出荷量割合



カ スターチス

作付面積は166haで、前年産並みとなった。

出荷量は1億1,330万本で、前年産に比べ340万本（3%）減少した。

都道府県別出荷量割合は、和歌山県が57%で最も高く、次いで北海道が24%となっており、この2道県で全国の約8割を占めている。

図 14 スターチスの作付面積及び出荷量の推移

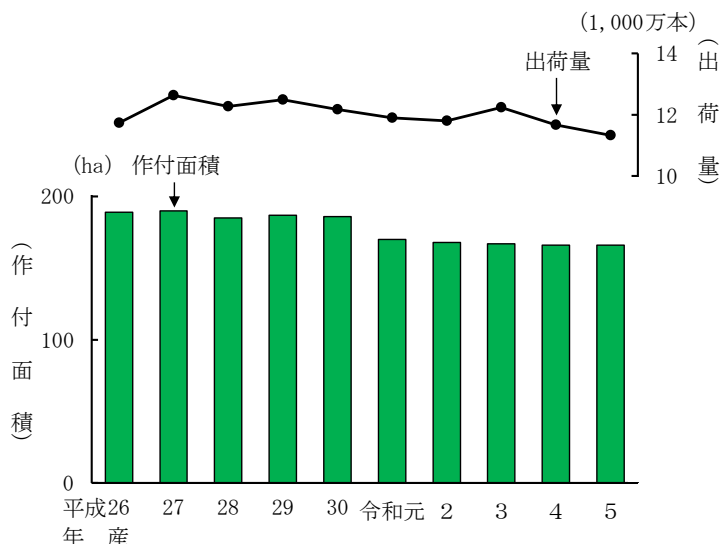
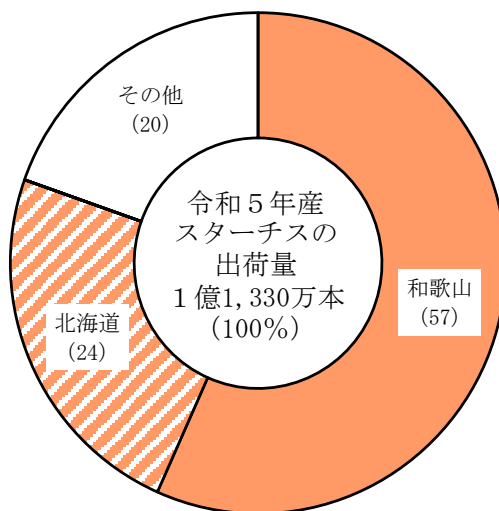


図 15 スターチスの都道府県別出荷量割合



キ ガーベラ

作付面積は74haで、前年産に比べ1ha（1%）減少した。

出荷量は1億1,990万本で、前年産並みとなった。

都道府県別出荷量割合は、静岡県が41%で最も高く、次いで福岡県が15%、和歌山県が8%、愛知県が7%、長崎県が5%となっており、この5県で全国の約8割を占めている。

図 16 ガーベラの作付面積及び出荷量の推移

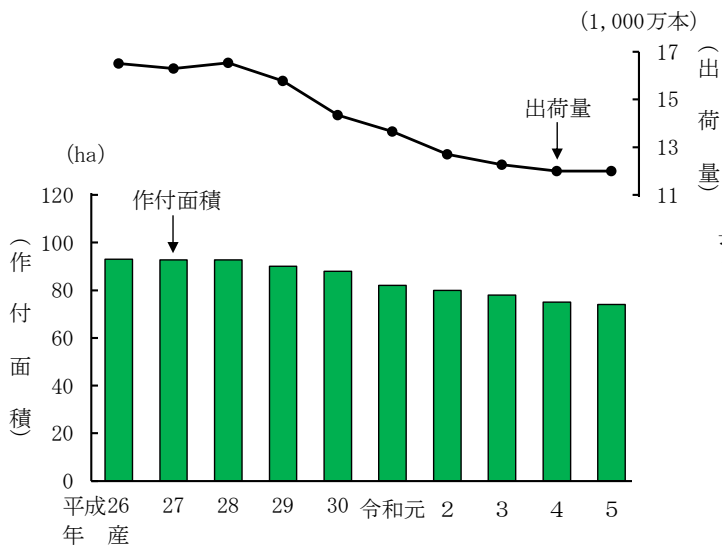
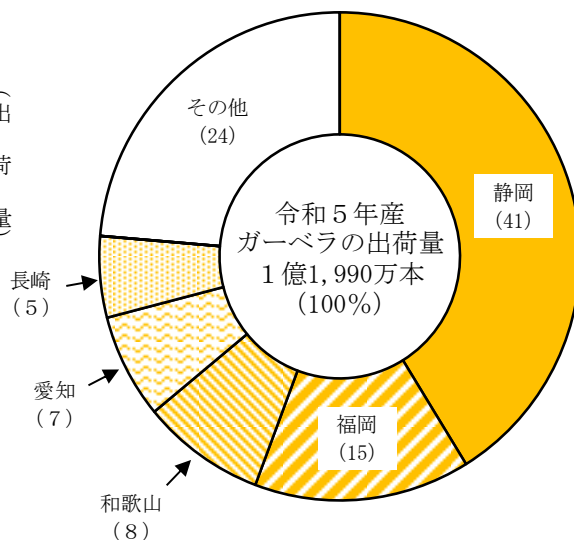


図 17 ガーベラの都道府県別出荷量割合



ク トルコギキョウ

作付面積は387haで、前年産に比べ5ha（1％）減少した。

出荷量は8,430万本で、前年産に比べ50万本（1％）増加した。

都道府県別出荷量割合は、長野県が15%で最も高く、次いで熊本県が12%、福岡県が9%、静岡県が5%、高知県が4%となっている。

図 18 トルコギキョウの作付面積及び出荷量の推移

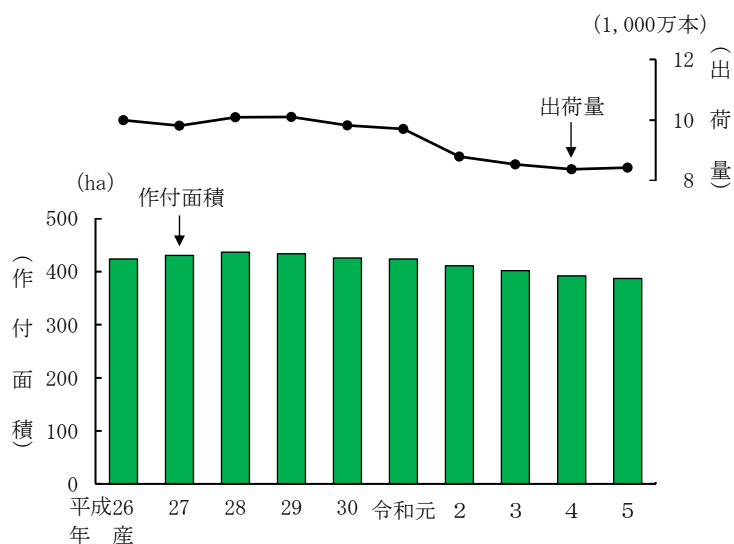
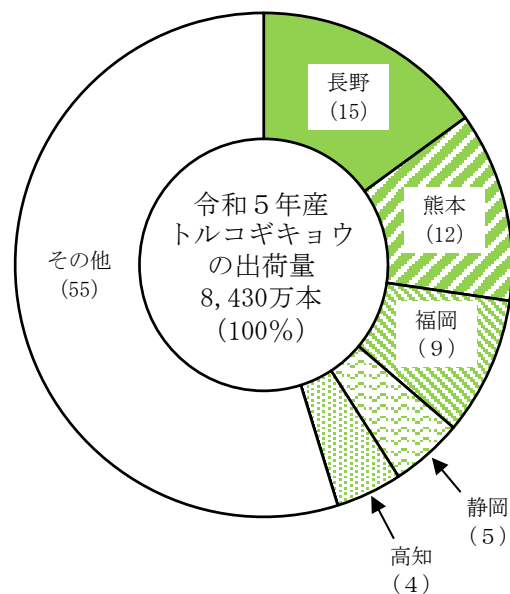


図 19 トルコギキョウの都道府県別出荷量割合



ケ ゆり

作付面積は609haで、前年産に比べ26ha（4％）減少した。

出荷量は1億180万本で、前年産に比べ550万本（5％）減少した。

都道府県別出荷量割合は、埼玉県が22%で最も高く、次いで高知県が10%、新潟県が9%、北海道及び千葉県がそれぞれ6%となっており、この5道県で全国の約5割を占めている。

図 20 ゆりの作付面積及び出荷量の推移

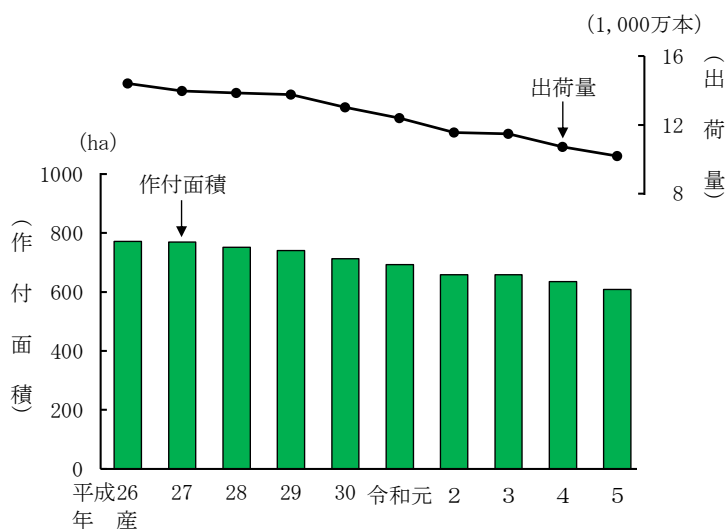
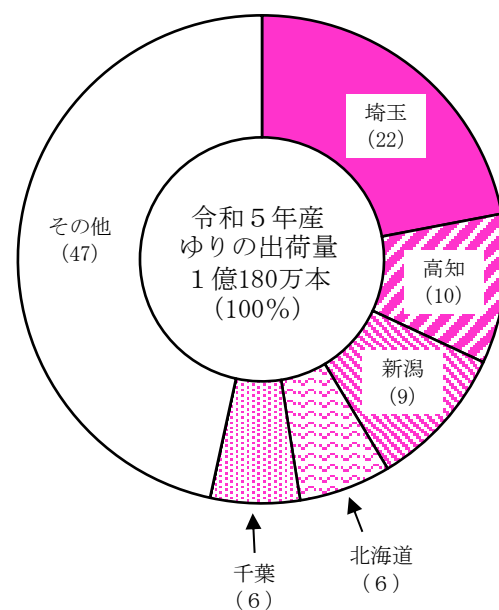


図 21 ゆりの都道府県別出荷量割合



コ アルストロメリア

作付面積は80haで、前年産に比べ1ha（1％）減少した。

出荷量は5,450万本で、前年産に比べ220万本（4％）減少した。

都道府県別出荷量割合は、長野県が39％で最も高く、次いで愛知県が22％、山形県が10％、北海道が9％、大分県が4％となっており、この5道県で全国の約8割を占めている。

図 22 アルストロメリアの作付面積及び出荷量の推移

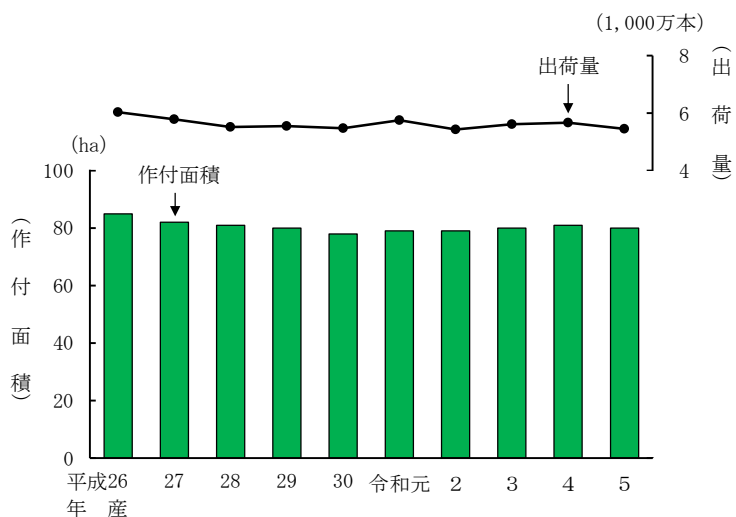
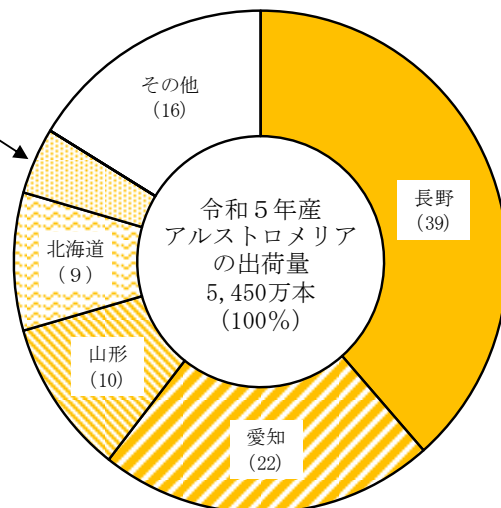


図 23 アルストロメリアの都道府県別出荷量割合



サ 切り葉

作付面積は550haで、前年産に比べ14ha（2％）減少した。

出荷量は8,110万本で、前年産に比べ520万本（6％）減少した。

都道府県別出荷量割合は、東京都が31％で最も高く、次いで沖縄県が21％、鹿児島県が14％、静岡県が8％、千葉県が5％となっており、この5都県で全国の約8割を占めている。

図 24 切り葉の作付面積及び出荷量の推移

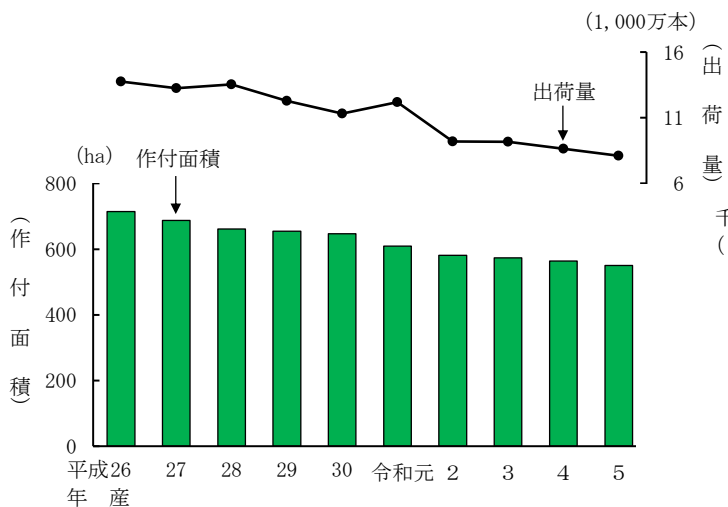
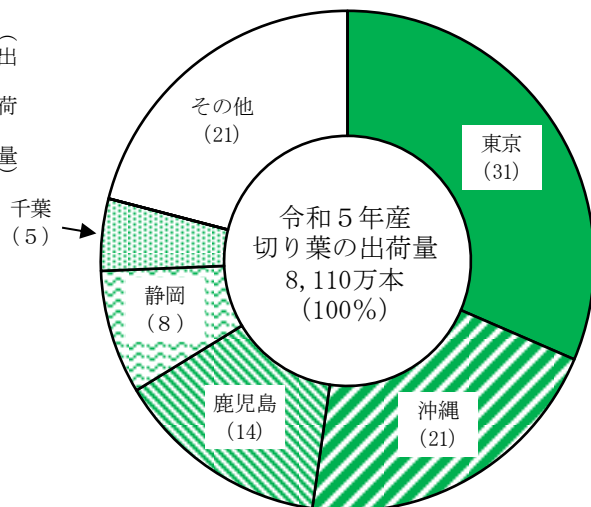


図 25 切り葉の都道府県別出荷量割合



シ 切り枝

作付面積は3,575haで、前年産並みとなった。

出荷量は2億550万本で、前年産に比べ320万本（2％）増加した。

都道府県別出荷量割合は、静岡県が16％で最も高く、次いで茨城県が15％、愛媛県が6％、宮崎県及び和歌山県がそれぞれ5％となっている。

図 26 切り枝の作付面積及び出荷量の推移

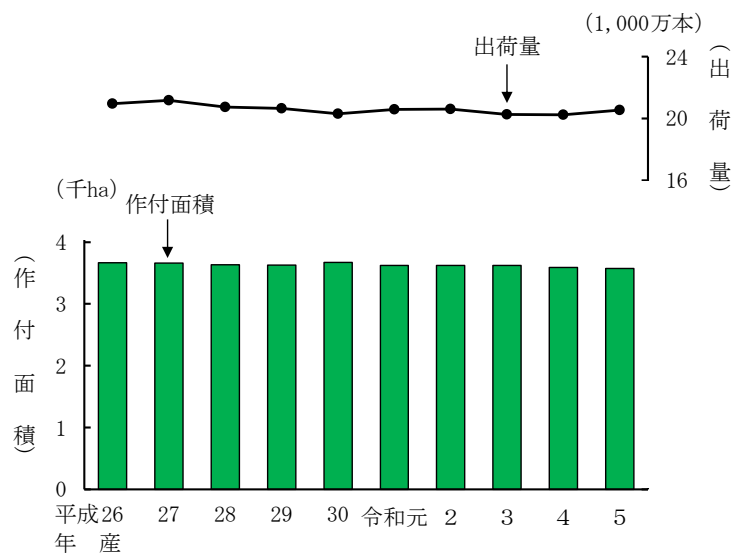
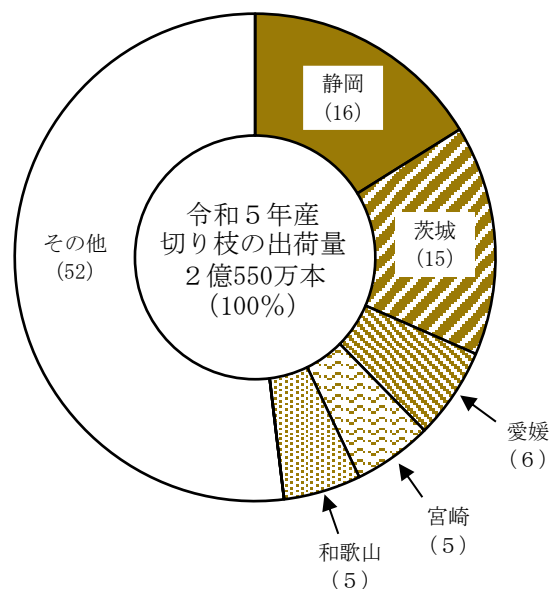


図 27 切り枝の都道府県別出荷量割合



(2) 球根類

収穫面積は229haで、前年産に比べ5 ha（2％）減少した。これは、生産者の高齢化等の労力事情により規模縮小等があったためである。

出荷量は6,810万球で、前年産に比べ420万球（6％）減少した。これは、夏場の高温の影響による生育不良等があったためである。

都道府県別出荷量割合は、鹿児島県が24％で最も高く、次いで富山県が18％、新潟県が17％、宮崎県が9％となっており、この4県で全国の約7割を占めている。

図 28 球根類の収穫面積及び出荷量の推移

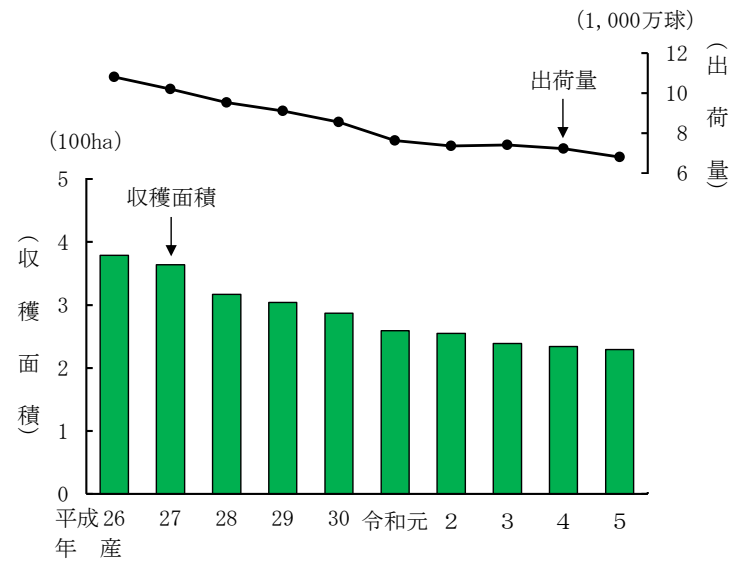


図 29 球根類の都道府県別出荷量割合

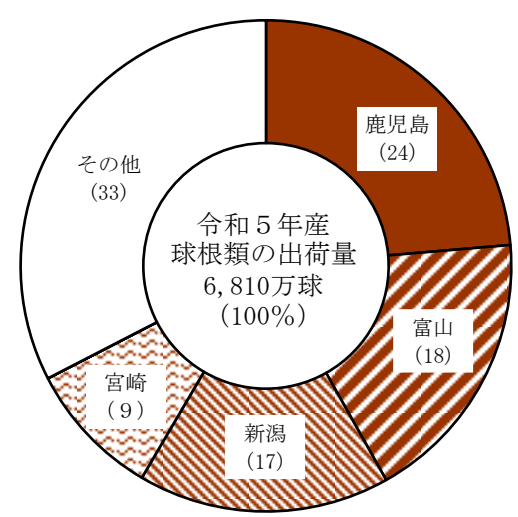


表 3 令和 5 年産球根類の収穫面積及び出荷量（全国）

類 別	収 穫 面 積	出 荷 量	対 前 年 産 比	
			収 穫 面 積	出 荷 量
	ha	万球	%	%
球 根 類	229	6,810	98	94

(3) 鉢ものの類

収穫面積は1,400haで、前年産に比べ52ha（4％）減少した。これは、生産者の高齢化等の労力事情により規模縮小等があったためである。

出荷量は1億7,540万鉢で、前年産に比べ500万鉢（3％）減少した。これは収穫面積の減少等があったためである。

都道府県別出荷量割合は、愛知県が27％で最も高く、次いで埼玉県及び静岡県がそれぞれ8％、岐阜県が6％、千葉県が4％となっており、この5県で全国の約5割を占めている。

品目別出荷量割合は、観葉植物が23％で最も高く、次いで花木類が17％、シクラメンが8％、洋ラン類が6％となっている。

図 30 鉢ものの類の収穫面積及び出荷量の推移

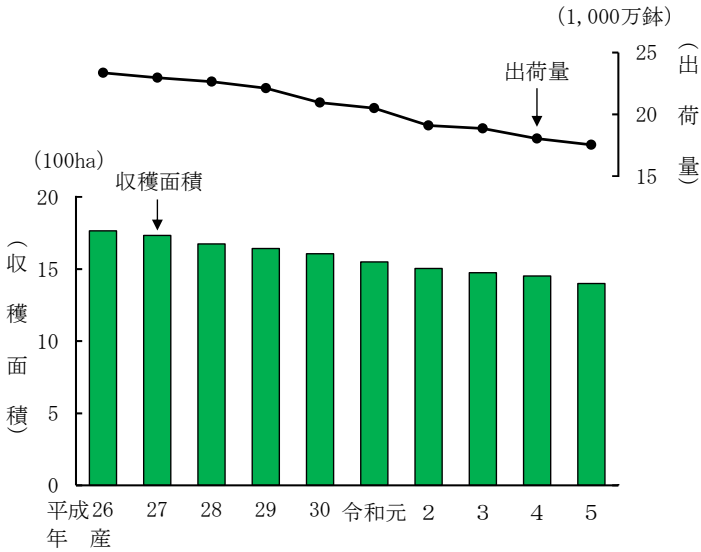


図 31 鉢ものの類の都道府県別出荷量割合

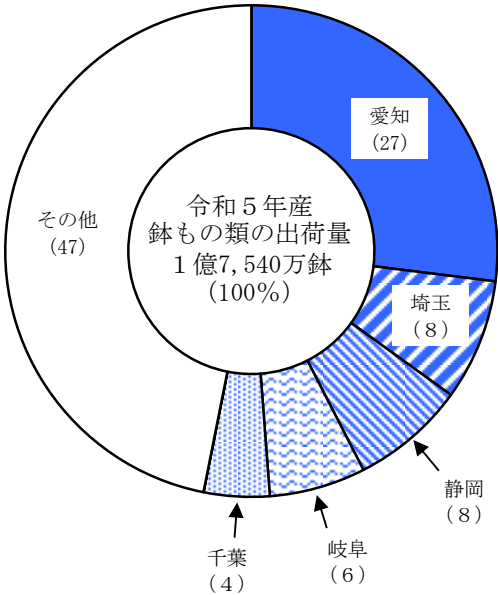


図 32 鉢ものの類の品目別出荷量割合

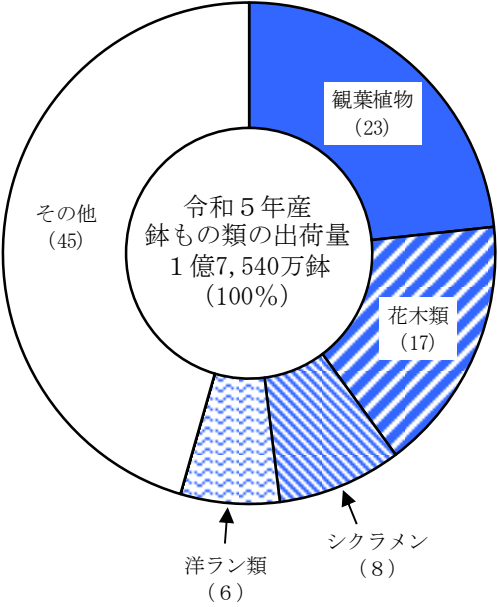


表 4 令和5年産鉢ものの類の収穫面積及び出荷量（全国）

類・品目	収 穫 面 積	出 荷 量	対 前 年 産 比	
			収 穫 面 積	出 荷 量
	ha	万鉢	%	%
鉢 物 の 類	1,400	17,540	96	97
うち シクラメン	151	1,430	97	97
洋ラン類	163	1,140	97	98
観葉植物	254	4,090	99	99
花木類	275	2,900	95	92

注：鉢ものの類の値は、表章されている内訳品目以外の品目を含んだ合計である。

ア シクラメン

収穫面積は151haで、前年産に比べ5ha（3％）減少した。

出荷量は1,430万鉢で、前年産に比べ50万鉢（3％）減少した。

都道府県別出荷量割合は、長野県が12％で最も高く、次いで愛知県が11％、福島県及び千葉県がそれぞれ6％、群馬県が5％となっている。

図 33 シクラメンの収穫面積及び出荷量の推移

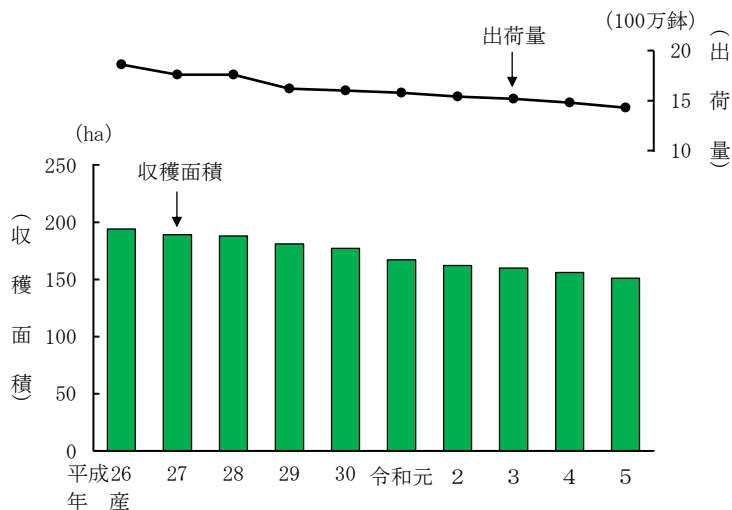
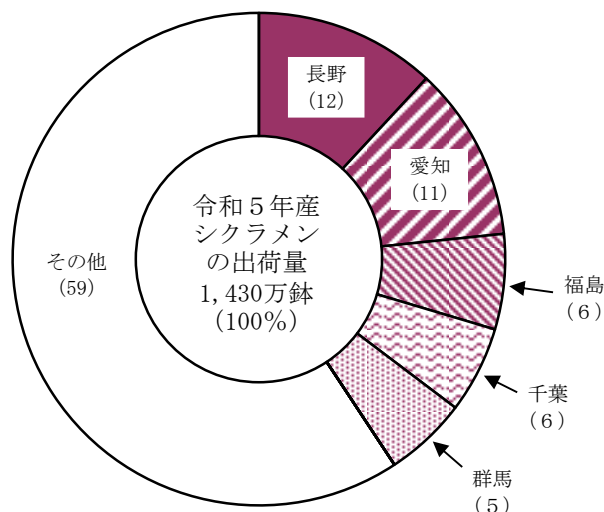


図 34 シクラメンの都道府県別出荷量割合



イ 洋ラン類

収穫面積は163haで、前年産に比べ5ha（3％）減少した。

出荷量は1,140万鉢で、前年産に比べ20万本（2％）減少した。

都道府県別出荷量割合は、愛知県が25％で最も高く、次いで熊本県が10％、福岡県が8％、千葉県が7％、山梨県が6％となっており、この5県で全国の約6割を占めている。

図 35 洋ラン類の収穫面積及び出荷量の推移

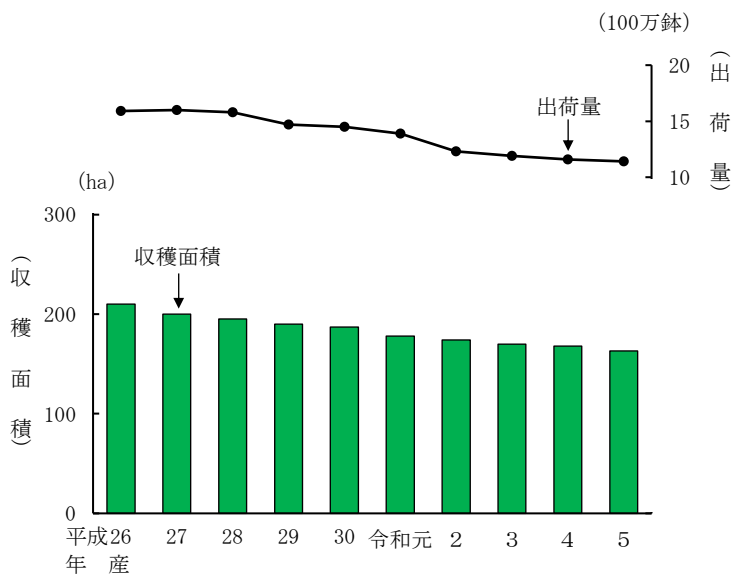
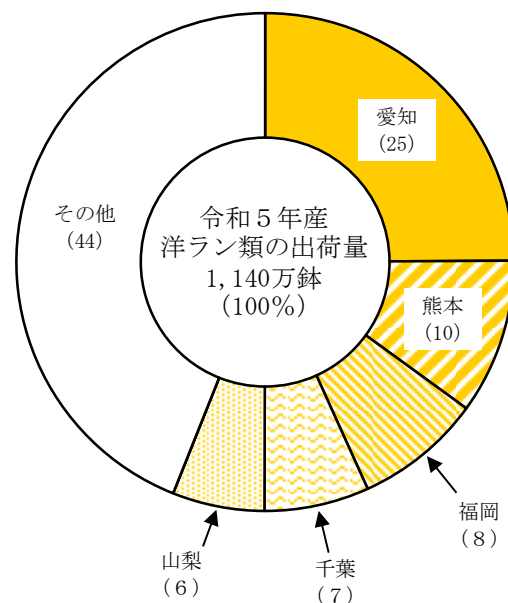


図 36 洋ラン類の都道府県別出荷量割合



ウ 観葉植物

収穫面積は254haで、前年産に比べ3ha（1％）減少した。

出荷量は4,090万鉢で、前年産に比べ60万鉢（1％）減少した。

都道府県別出荷量割合は、愛知県が48％で最も高く、次いで静岡県が13％、三重県が9％、鹿児島県が4％、千葉県が3％となっており、この5県で全国の約8割を占めている。

図 37 観葉植物の収穫面積及び出荷量の推移

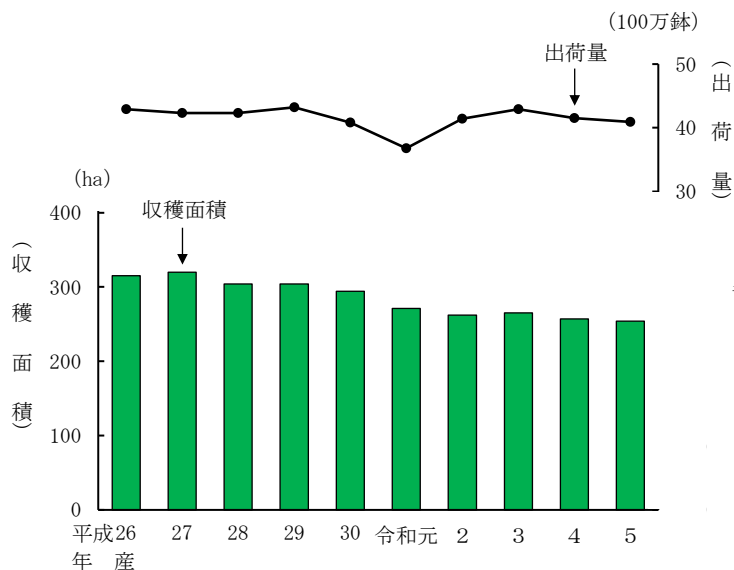
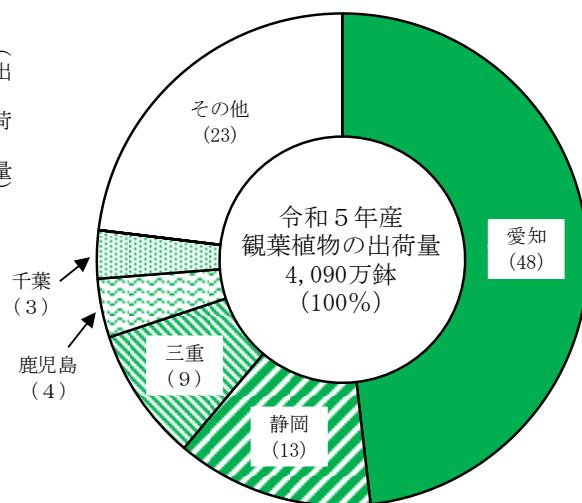


図 38 観葉植物の都道府県別出荷量割合



エ 花木類

収穫面積は275haで、前年産に比べ15ha（5％）減少した。

出荷量は2,900万鉢で、前年産に比べ240万鉢（8％）減少した。

都道府県別出荷量割合は、愛知県が23％で最も高く、次いで新潟県が15％、岐阜県が13％、埼玉県が8％、静岡県が7％となっており、この5県で全国の約7割を占めている。

図 39 花木類の収穫面積及び出荷量の推移

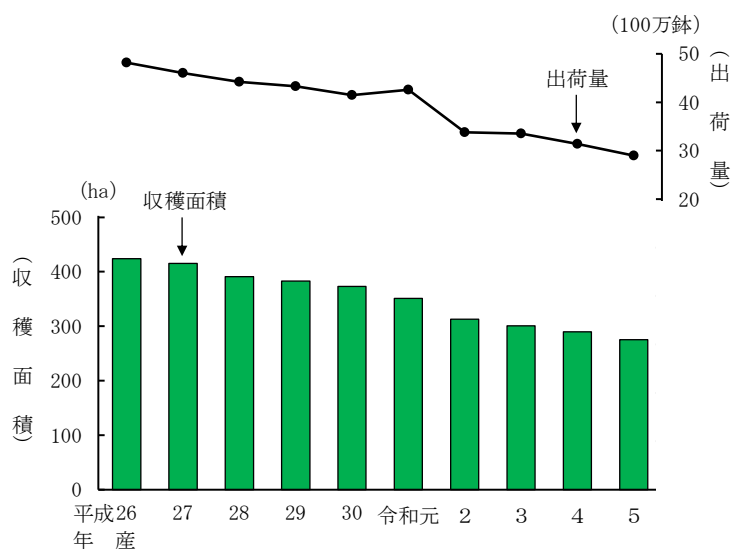
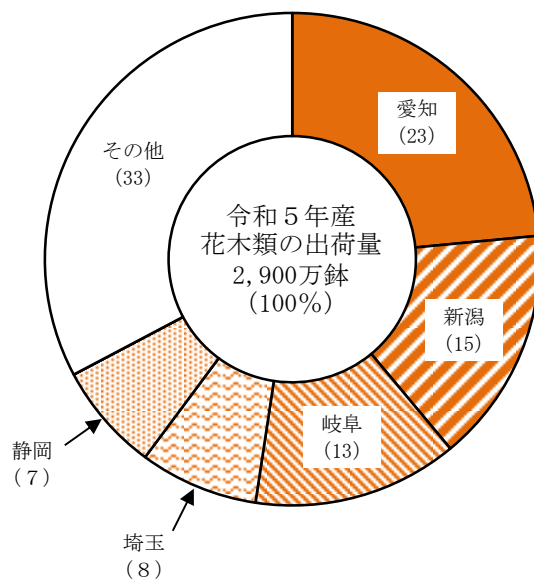


図 40 花木類の都道府県別出荷量割合



(4) 花壇用苗ものの類

作付面積は1,223haで、前年産に比べ30ha（2％）減少した。これは、生産者の高齢化等の労力事情により規模縮小等があったためである。

出荷量は5億1,540万本で、前年産に比べ1,900万本（4％）減少した。これは、夏場の高温の影響による生育不良等があったためである。

都道府県別出荷量割合は、埼玉県が10％で最も高く、次いで愛知県が8％、千葉県が6％、奈良県及び茨城県がそれぞれ5％となっている。

図 41 花壇用苗ものの類の作付面積及び出荷量の推移

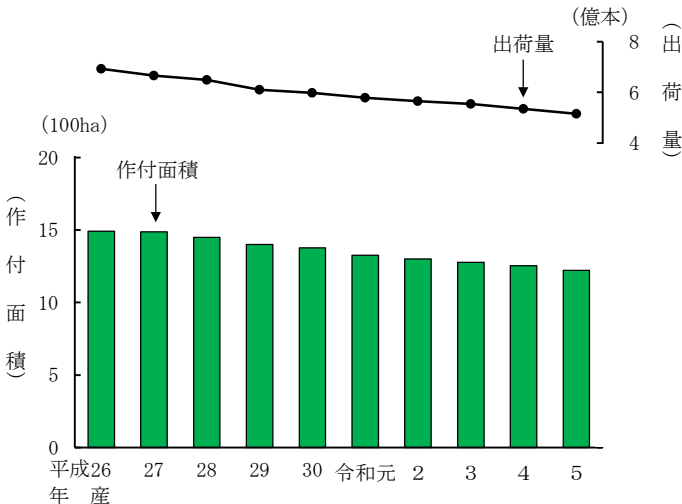
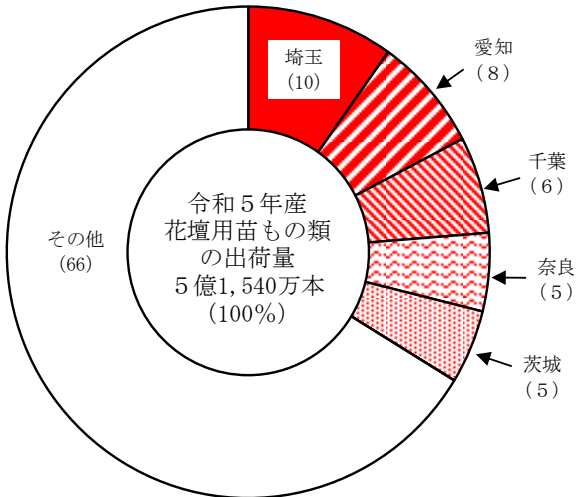


図 42 花壇用苗ものの類の都道府県別出荷量割合



このうち、パンジーの作付面積は229haで、前年産に比べ7ha（3％）減少した。

出荷量は9,860万本で、前年産に比べ710万本（7％）減少した。

都道府県別出荷量割合は埼玉県が8％で最も高く、次いで愛知県及び神奈川県がそれぞれ6％、奈良県及び福岡県がそれぞれ5％となっている。

図 43 パンジーの作付面積及び出荷量の推移

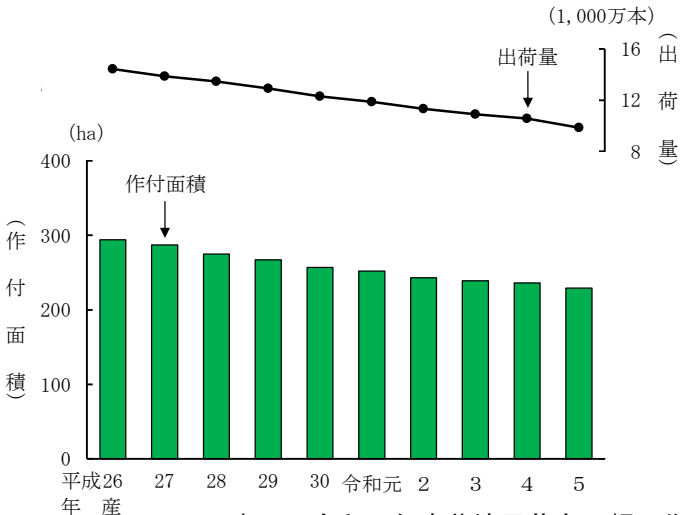


図 44 パンジーの都道府県別出荷量割合

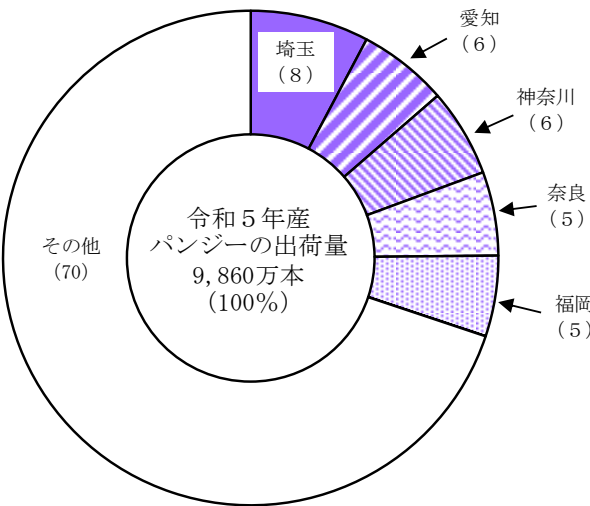


表 5 令和5年産花壇用苗ものの類の作付面積及び出荷量（全国）

類・品目	作付面積	出荷量	対前年産比	
			作付面積	出荷量
	ha	万本	%	%
花壇用苗ものの類	1,223	51,540	98	96
うちパンジー	229	9,860	97	93

注：花壇用苗ものの類の値は、表章されている内訳品目以外の品目を含んだ合計である。